

| 研究分野 | | 授業科目名 | | 科目責任者 |
|---|----------|---------------|-------|------------------|
| 生理系分野 | | 神経病態生理学 | | 宇野 昌明 |
| 開講年次 | 共通/専攻/選択 | | 単位数 | |
| 1~4 | 必須専攻 | | 20 | |
| 目的 | | | | |
| (1) 脳卒中の病態と外科的治療方法の合併症を理解する。 (2) 神経病態生理の基礎を理解する。 (3) 英語論文を抄読し、理解する。 (4) 統計の意義を理解し、統計学の基礎を説明できる。 | | | | |
| 授業到達目標 | | | | |
| (1) 神経病態生理の基礎を研究報告会で説明できる。 (2) 統計の有意差やその意義を説明できる。 (3) 英語論文を4年間で2編以上作成できる。 | | | | |
| 授業計画 | | | | |
| 月日 | 曜日 | 時間 | 担当者 | 授業内容 |
| 毎週 | 月~金 | 8:00 - 8:30 | 宇野 昌明 | 脳卒中の病態と治療について |
| 毎週 | 木 | 13:30 - 15:30 | 宇野 昌明 | 脳卒中の病態と治療について |
| 毎月 | 月 | 16:30 - 17:30 | 宇野 昌明 | 神経病理所見の見方について |
| 毎週 | 火 | 7:30 - 8:15 | 松原 俊二 | 英語論文の読み方・書き方について |
| 毎週 | 火 | 13:30 - 15:30 | 八木 謙次 | 研究の立て方, 統計解析の仕方 |
| 評価方法 | | | | |
| (1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。 | | | | |
| 課題 (レポート等) に対するフィードバック | | | | |
| (1) ひと月ごとの研究成果の報告に対して、指導・助言を行う。 (2) 中間発表の抄録作成時に指導・助言を行う。 | | | | |
| 教科書 | | | | |
| ISBN-9784765316675, 脳神経外科学 (改訂 13 版), 太田富雄 他, 金芳堂, 2021 | | | | |
| 参考書 | | | | |
| ISBN-9784877941697, 脳卒中治療ガイドライン 2021, 日本脳卒中学会, 脳卒中ガイドライン委員会, 協和企画, 2021 | | | | |
| 準備学習 (予習・復習等) | | | | |
| (1) 実習前に、教科書・参考書等を読み、約1時間程度の予習を行う。 (2) 毎週、履修手帳に研究計画・内容を簡潔に記載する。 (3) 研究終了後、その日のうちにデータを記録し、月1回指導者に提出する。 | | | | |
| 修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 | | | | |
| (1) 卓越した研究成果をあげ、神経病態生理学の深い学識を獲得する。 (2) 学術研究が国民からの信頼、負託に応えるものであることを理解し、高い倫理観を身につける。 | | | | |
| 注意事項・メッセージ | | | | |
| (1) 大学院生として、神経病態生理学の勉強、実験に熱心に取り組んで下さい。 (2) 今回の研究結果が臨床応用可能となることが望まれます。 | | | | |